

令和3年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	嬉野市立大草野小学校 児童数 110人	担当者名	井手 智子 古川 順子
住所	郵便番号 843-0302 嬉野市嬉野町大字下野丙80番地	電話番号	0954(43)1388

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	～本の世界を広げて 本を楽しもう！～
	取組期間	令和3年 4月12日 ～ 令和3年 11月30日

※令和3年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和3年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評価	取組人数	130人	実施日数	156日	読書冊数	16667冊	連携した団体数	4団体
	取組内容（概要）	<p>①思いやりの心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3密にならないような図書室利用の工夫 <p>②給食と絵本とのコラボ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食センターと連携し、子ども達が絵本の中のでてくるメニューを楽しむことができる取り組み <p>③読書の世界を広げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書の充実、図書室の環境整備、季節の本の紹介、貸出しランキングの上位の本の紹介、先生方のおすすめの本の紹介、読書ノートの活用、国語の教科書掲載図書コーナーの設置、読書感想文へのおすすめの本のコーナー設置などの読書環境整備の工夫 <p>④楽しんで興味を持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館まつりのイベントの取り組み <p>⑤宝物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「嬉野市校長先生の知恵袋事業」活用のアニバーサリーブック 						
	工夫したこと	<p>①思いやりの心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「図書室に入る前は必ず手を洗う。」を徹底し、子ども達みんなが安心して本を借りることができるように努めた。各学年の本の貸出時間を分けたり、距離を保持して並べるように床にテープを貼ったりして密をさけた。 <p>②学校図書室と給食コラボ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校図書室と給食コラボ」では、子ども達が4冊の絵本の中から給食の献立に入れてもらいたい料理の絵本を子どもたちが1冊選び、ビー玉を使って投票をする。子ども達は投票を楽しみながら一冊の本を選んでいった。給食が苦手な子ども達も、献立表をみて絵本に出てきたメニューや自分が選んだメニューがいつ出てくるかドキドキしながら楽しみに待っている。 <p>③読書の世界を広げる。</p>						

	<p>・蔵書の新規購入は、例年、図書委員会の児童の希望をもとに行っていたが、今年は、6年生児童に購入本のリクエストをとり、購入した本は、6年生から貸出すことで、卒業までに新刊の本が読めるようにした。蔵書の充実を図ることで、常に新しい本が図書室にあることを印象づけることができた。また、子ども達が毎日通る場所に新刊案内を掲示したり、季節ごとに図書室の掲示を工夫したり、図書室への興味・関心を広げることができた。</p> <p>④楽しんで興味を持つ</p> <p>・今年度もコロナ禍の中で、全校集まったの読み語りの活動が思うようにできなかった。図書館まつりも混雑が予想されるので、各学年ずつ図書の時間に行き、1人でも楽しむことができるような「しおりづくり」のイベントを行った。2月には、分類ビンゴも行う予定で、そこで読書の幅を広げ、普段手にすることのない本を借りて読んで欲しいと思っている。</p> <p>⑤宝物</p> <p>・4年生の2分の1成人式で、自分が欲しいと思った本を選んで校長先生よりプレゼントしていただく予定であり、今年で5年目となる。11月にたくさんの本が載っているカタログ絵本の「つぎになにを読む？」などの本のリストの中から嬉しそうに本を選ぶ姿が見られ、子ども達も本のプレゼントを楽しみに待っている。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>今年度もコロナ禍で思うような活動ができなかったのが残念だった。しかし、1日の貸出し冊数を3冊に増やす工夫や、様々な本に関心を持って、楽しんでもらえるようにできるかぎりの工夫をしてきた。そして、子ども達の手元にいつも本があるように心がけ読書推進を行った。ただ、貸出し冊数を伸ばすことだけに気をとられ、よりよい読書習慣が身についていない児童もみられたので、「借りた冊数」ではなく「読んだ冊数」を意識するように繰り返し声をかけてきた。その結果、高学年では隙間の時間などに、自分の席でじっくり本を読んでいる児童の姿も見られるようになった。個人差はあるものの、これまでの活動を継続することで、さらに多くの子ども達の読書の質を高めていけたらと考えている。</p>
<p>これまでの取組や 今後の取組予定</p>	<p>11月末時点で全校児童110名中90名が、読書冊数130冊を達成している。今後も読書推進の積極的な働きかけや情報発信、蔵書や展示の充実、定期的なイベント開催に取り組むなど、児童が図書室へ足を運び、本に親しむ環境を整えていきたい。</p> <p>現在、特に効果を上げているのが、子ども達の読書傾向を意識した選書である。斎藤洋さん、秋木真さんの作品は、学年を超えて子ども達同士で薦めあえる人気の本となっている。今後も子ども達の読書傾向の把握に努め、「読みたい本がそこにある図書室作り」を行っていきたい。</p> <p>取り組みを行う中で、家読の減少など家庭での読書離れへの対策が今後取り組む課題の一つと考えている。毎月初めに、全校で取り組んでいる「ノーテレビ・ノーゲームデー」の時に、親子で読書に取り組むことができるような活動を仕組んでいきたい。</p>

おもいやりの心



図書委員が毎日 本をアルコールで拭いて貸し出しを行っている

今年度もコロナウイルス感染予防のための取り組みで、図書室に入る前に手洗いの声掛けをし、密にならないように曜日と休み時間を決めて学年ごとに貸出しをしたり、カウンターに並ぶ際に間隔をあける目印を床に設置したりした。また、返却された本の消毒作業を図書委員が行った。図書室に入る際の手指消毒とマスク着用の徹底の呼びかけをした。これらの取り組みを徹底することで、子ども達が安心して図書室を利用できるように努めた。

給食と絵本のコラボ

「学校図書室と給食コラボ」とは4冊の絵本の中から、子どもたちが1冊を選び、その絵本の中に出てくる料理を給食の献立に取り入れるものである。食べることでできない本の中の料理を実際に食べることで、もっと本に興味をもってもらいたいと栄養士の先生が考案された。今年はビー玉を使って投票をすることで、子ども達は楽しんで一冊の本を選ぶことができた。



(6年生への読み聞かせ)



- ・「パンケーキをたべるサイなんていない？」
- ・「バムとケロのそらのたび」
- ・「ハンバーグハンバーグ」
- ・「14ひきのおつきみ」

この4冊の中からどの本のメニューが給食に出てくるか、子ども達はわくわくしながらお話を聞いている。

★今年は、ビー玉投票！！
子ども達はもちろんですが先生も悩んで投票！！



どれにしよう～

読書の世界を広げる



蔵書

今年度は、子ども達の意見をたくさん聞きながら、本を購入するようにしている。6年生には、アンケートをとり購入し、まずは6年生から貸出しを開始した。自分たちがリクエストした本を1番に読むことができ満足した6年生！！

巡回図書



嬉野図書館の図書を1ヶ月入れ替えて利用している。各学年、教科で活用したりしている。

2年生の生活科「町探検」の一環で、嬉野市の市立図書館を訪問しました。図書館には約6万4千冊の本があるという話を聞いたり、1人1人貸出カードも作っていただき、学校にはない本との出会いもあった。本も読んでいただき、ますます本が好きになった子ども達です。

嬉野市立図書館の見学



読書感想文への取り組み

夏休み前の図書の時間を活用し、読書感想文にお勧めの本を図書委員会で選書し、「おすすめの本のコーナー」を作った。各学年に応じた本を選んだので、子ども達も選書しやすかった。また、ワークシートを作成し子ども達にも配布したので108人の応募があった。地区特選の2名の感想文をお昼の放送で紹介した。



読書ノートを活用

本校の、10月の学習目標は「進んで本を読もう」である。毎年読書ノートを活用しているが、今年度は図書の時間でも読書ノートに取り組む時間を設けた。子ども達の感想は、図書日よりなどで本の内容とともに紹介している。



親子読書

家庭との連携で、親子読書回覧板に取り組んでいる。どの家庭の感想からも家族であたたかな時間を過ごされてきたことが伝わってきた。

●「ぼくだけのこと」(森絵都)

(子どもの感想)

・「みんないいところ、悪いところがあるんだなと思いました。」

(保護者の感想)

・「人は誰でも長所・短所、いい所・悪い所があります。皆がわかり合うことで幸せな日々が送れるんだなと思いました。」

楽しんで興味を持つ

図書館まつり



あじさいまつり



ゆきまつり (昨年度の様子)



どの本を借りたら
ビンゴになるか考えながら
子ども達は本を借りている。

宝物



写真は昨年度の二分の一成人式での様子



年に3回実施している図書館まつり
第1回目は「あじさいまつり」(6月)
あじさいまつりでは、季節の本の読み語りとしおり作り。絵本に出てくる好きな絵を色画用紙に貼って、世界にたった一つ自分だけのしおりの完成！子ども達は、毎回借りた本にはさめて、読書を楽しんでいる。

第2回目は「もみじまつり」(10月)
もみじまつりでは、給食センターとのコラボの読み語りを行った。

第3回目は「ゆきまつり」(2月予定)
ゆきまつりでは、分類指導の一環で分類ビンゴ大会を行う予定です。国語の「図書館へ行こう」の単元に合わせた分類指導のほか、学年に応じた分類指導を定期的に行っている。2月になるとビンゴにあわせてふだん手に取らない本も借りたりすることで、子ども達の本の世界も広がって欲しいと考えている。ビンゴになったら、おみくじをひいて、絵本カバーを使ったバッグをプレゼント！！

大草野小学校では、「嬉野市校長先生の知恵袋事業」の活用でアニバーサリーブックの贈呈が今年度で5回目となる。今年度も1月に行われる4年生の「二分の一成人式」の際に1人1冊ずつ校長先生よりプレゼント。本は「つぎになにを読む？」などの本のリストの中から嬉しそうに本を選んでいった。本には校長先生より1人1人に温かなメッセージが書かれてあり、子ども達は首を長くしてアニバーサリーブックを待っている。この素敵な取り組みを継続していきたいと思っている。